



大阪錦繪新話
第廿五

大坂堂鳴中通二丁目
卅九番地油商ひたる伊東政
捕家内打つと泰詣に四天寺
此行の三月の十五日カ極
樂の彼岸會に内地獄の金
たうと油を製する大釜に留
全下男と下女へか如何しや
誤ちてふくり縛るカ金へ薄け
下女を即刻に抱き上ると養生
叶はれ同日午後の七時頃息絶
こと七氣の毒ある誰も此画を戒
めとて心を用ひ給ふべし

九代記

伊東政二代
白兵衛

新編

眼九一

大阪錦繪新話25号 文庫10-8067-12

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

